



幼児部だより

令和2年6月25日発行 洗足池保育園



雨が降る日が続いていますが、傘をさすのが楽しい子、長靴を履くのが楽しい子、レインコートを着るのが楽しい子…雨の日の中にも、子ども達にとっては楽しい要素や発見がたくさんあるようです。



ボディペインティングをしたよ！手形をペタペタ！

今月の1コマ



雨が降った次の日に散歩に行ったら、こんなに大きなミミズがいたよ！



6月生まれのおともだち

A・S ちゃん (6さい)
E・S ちゃん (6さい)



7月のうた

たなばたさま

きらきらぼし



わかば組

再びダンゴ虫ブームが到来したわかば組。昨年度に比べ、触れるようになった子も増え、虫かごの中にはダンゴ虫が何十匹も住んでいます。

朝の時間に、どこに散歩に行きたいか保育者に聞かれると、「弁天神社！」「馬の像広場！」とダンゴ虫が沢山いる場所を答える子ども達。散歩先に着くと、早速ダンゴ虫探しが始まります。見つけると「ここにいたよ！」と大きな声でお友達に教え、「どこどこ？」と皆で同じ場所に集まり、手の平いっぱい捕まえます。また、手の中に納まらないと保育者に袋を貰い、袋いっぱい集めています。大きいダンゴ虫を見つけると、嬉しそうに見せ合ったり、「僕の方が大きいよ！」と比べたりしていますよ。以前は傍で見ているだけだった子も、「僕も触りたい！」と言い慎重に捕まえ、手の平に乗せ「可愛いね」と、動いている様子を嬉しそうに眺めています。中には、ダンゴ虫を何匹か地面に置き、一緒にかけてっこをしようとする可愛い姿も見られました。

このように喜んで生き物に触れ、大切に育てる姿が見られ嬉しく思います。これからも様々な生き物に興味を持てるよう、一緒に触れたり調べたりしていきたいと思います。



あおば組

虫が大好きな子ども達。散歩先で拾ったダンゴ虫やテントウ虫、保育園にある金柑の木にいた、あお虫等を飼っています。毎朝登園すると、水をかけたり、「今日もいっぱいご飯食べてね！」と言いながら葉っぱやキャベツ等を入れたりし、お世話をしています。様々な虫を飼っていますが、その中でもあお虫は子ども達が1番成長を楽しみに観察していました。6月上旬頃虫かごを見ると、あお虫が蛹さなぎになっていました。「見て！蛹さなぎになってるよ！」と大はしゃぎ。その後、毎日蛹さなぎを観察し、「早くアゲハ蝶にならないかな。」と待ち遠しそうに見ていました。6月中旬頃、登園すると蛹さなぎが1匹アゲハ蝶になっていました。「うわぁ！アゲハ蝶アゲハになってる！」「きれいだね！」と嬉しそうに見ていましたよ。アゲハ蝶アゲハをどうするのか子ども達に聞くと、「虫かごは狭いから外に放してあげる！」と言い、放してあげることにしました。飛んでいくアゲハ蝶アゲハを見て、「元気だね！」「また遊びに来てね！」という子ども達でした。

これからも様々な虫や生き物を飼い、触れる機会を作っていきたいと思います。

